

1 火山災害

区では、富士山が噴火した場合に2~10cm程度の降灰のおそれがあり、停電が発生したり、道路の通行や交通機関の運行に影響が出たりします。大量の火山灰を吸引すると呼吸器系に影響を及ぼす等、健康被害につながります。

降灰への対応

屋内にいるとき

- 降灰中は屋内に留まる
- 窓やドアを閉め外気の侵入を最小限に抑える
- 換気扇や換気機能のあるエアコンの換気運転を止める

屋外にいるとき

- マスクやハンカチ、衣服で鼻と口を覆う
- 建物や車等、避難できる場所を探す



降灰中に外出

- テレビ等で降灰に関する情報を確認する
- マスクや傘を持っていく
- コンタクトレンズははずし、めがねやゴーグルを着用する
- 灰が皮膚に触れないよう、長袖・長ズボン、手袋等を着用する
- 車の運転は控える

火山灰の除去

- 清掃するときは、ゴーグルやマスクを着けて行う
- 水や雨で固まってしまうので素早く掃除する
- 下水に流すと詰まるので、灰をポリ袋に詰めて捨てる



2 雷・竜巻



雷や竜巻は短時間で大きな被害をもたらします。雷注意報、竜巻注意情報等の気象情報や空の様子にも注意しましょう。

安全の確保

雷への対応

- 頑丈な建物や車の中等の安全な場所に避難する
- 開けた場所にいる場合は、電柱や高い木の近くから離れる
- なるべく姿勢を低くし、持ち物は身体より高くならないよう気をつける

竜巻への対応

- 頑丈な建物の窓のない部屋等で、身を守る
- 雨戸、窓やカーテンを閉め、窓から離れる
- プレハブ等の仮設建築物、太い樹木等も倒壊したり、とばされてしまうおそれがあるので離れる

3 複合災害

同じ種類あるいは異なる種類の災害が、同時または時間差で発生することがあります。被害が大きくなったり、広域化・長期化したりする可能性があります。

例えば、地震発生時に風水害、火山噴火、感染症拡大が想定されます。また、感染拡大は避難生活中に発生が想定され、避難者間で集団感染が発生して被害が拡大する可能性があります。

